

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 尾関武弘
 幹事 伊豫田博明
 会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 41

意識を喚起し——進んで行動を

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会
 第904回 平成13年 6月 12日(火)

卓話 “「80:20」の法則”
 会員 永井 勝君

GSE帰国報告
 大同工業大学講師 渡辺 博明氏

先週の記録
 第903回 平成13年 6月 5日(火) 雨

◆“君が代” “それでこそロータリー”

◆新入会員紹介



氏名 森岡 文明
 生年月日 昭和24年11月3日
 事業所 日本生命保険(相) 名古屋東支社
 千種区今池4-1-29
 ニッセイ今池ビル7F
 TEL 741-0822 FAX 741-0753
 地位 支社長
 自宅 守山区小幡中1-33-2-202
 推薦者 小林 明
 職業分類 生命保険
 委員会 親睦活動

◆出席報告

会員 70(63)名 出席 53名
 出席率 84.13%
 前々回 5月22日 (修正出席率) 100%

◆ビジター紹介 1名

◆ゲスト紹介 ORIBE 研究家 久野 治氏

◆会員誕生日

浅井君 (6/1) 藤田さん (6/6) 小杉君 (6/11)
 魚津君 (6/11) 三輪君 (6/22)

伊豫田幹事報告

1. 会員 魚津常義君が長期欠席されておりましたが本日よりお元気に出席頂きました。
2. 本日例会終了後、現・次年度理事役員会を開催いたしますので、現・次年度理事役員の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
3. 名北RCよりIM記念誌と参加記念品(ユリカード)が来ておりますので、出席されました方はお持ち帰り下さい。

尾関会長挨拶

皆さん、こんにちは。私の挨拶もいよいよ最後の月になりました。本日を入れて4回と云う事ですが、ふり返ってみますと雑談のような話ばかりで私の職業に関係した話をしておりませんので、今日は職業に関連した男の服装について、その中でも礼服と呼ばれるものについて話をしたいと思います。

一般に礼服と呼ばれるものは、実はフォーマルウェアとソーシャルウェアに分類されます。フォーマルウェアはその名の通り儀礼的な場面で着る服であり、ソーシャルウェアは社交のための服であります。どうも日本ではこの二つが混同されやすく、儀礼と云うのは何となくわかるがどうも社交と云うのは何だろうと云う事になります。そこで便利な方法と云うわけで、どこへでも黒のダブルスーツで出かけると云う事になり、大安吉日のホテルのロビー等でよく見かける風景であります。

フォーマルウェアは昔から正式の服で分けけると第一正装は夜はテール・コートと呼ばれる燕尾服、昼間はモーニング・コートであります。和服の場合は五所紋の黒羽二重の紋服には仙台平の袴と云う事になります。

これに対してソーシャルウェアの代表はなんと云ってもディナージャケット、つまりタキシードであり

ます。アクセサリさえしっかりしていればダークスーツでも充分役に立ちます。

又、ディレクター・スーツと云う国際的にも通用する略礼服もあります。日本では昼と夜の両方に通用すると思います。これは黒のスリーピースがベースになります。袴はピークドラペルで前の釦は1個が正式ですが2つ釦でもよく、この方が着る範囲が広がります。ヴェストは同色の黒かグレーでシャツと蝶ネクタイやリボンタイなどのコーディネイトで雰囲気を変えることが出来ます。又、この黒のスラックスをモーニング用のコールの縞ズボンに変えれば昼間の略礼装としては、下手なモーニング姿よりおしゃれな感じになると思います。ワイシャツを白、ネクタイを黒にすれば弔事の時でも大丈夫であります。

もう一つ、アメリカやイギリスでブレザーとスラックスで民族衣装的な服装やアイビリーガーの様に黒又は紺のフラノのジャケットに金ボタンとエンブレム、スラックスはタータンチェックと云う若い人達の礼装もあります。

まだまだ話せばキリがありませんが今日は男の礼服について少しお話をさせていただきました。

◆講演 “その後の古田織部について”

ORIBE 研究家 久野 治氏
(紹介 大口君)



私が「いま、なぜオリベか」と題して、卓話をさせて戴いたのは、平成8年7月9日でありました。

みどり色の器としてオリベ焼きは知っているが、古田織部は知らない。というやきもの町にあって、故里が生んだ武将茶人の偉大な改革精神（自由、奔放、大胆、創造、多様、多彩）に加えて、徳川家康によって切腹させられたため、江戸時代260年間は、謎の人物として忌避されてきた生涯に、私は光をあて、その生地ならびに72年の生涯、さらに切腹の原因にいたる全てを、私の主な経歴にみられる如く、「古田織部の世界」という一冊を刊行し、世に訴え、その名誉回復とオリベの精神こそ、世紀末で混迷する社会に必要であると述べました。幸いにも私の著書が梶原拓岐阜県知事の眼にとまって、21世紀に向う岐阜県の産業文化の発展の根底に、古田織部が桃山時代にはたした改革精神を「オリベイズム」と、位置づけて、これが普及をはかるべく施策の展開ははかれることになりました。

新聞、テレビが古田織部を採りあげるようになって

たのは、それからであります。かくして岐阜県では、世界から既成の概念にとらわれない大胆で、斬新な発想や技術で創造的な活動を、産業文化として取り入れるべく平成9年に、「織部賞」を制定され、有難いことですが、第一回の特別功労賞に私が選ばれ受賞する光栄をにないました。

織部研究をはじめ、私としては15年の歳月がたっていました。しかし茶聖とよばれる千利休に較べて、古田織部の知名度は低く、私は著書の中でも講演先でも「千利休は全国版、古田織部は地方版」と言いつつ、自らを励まし、努力して参りましたが一歩及びませんでした。こんな口惜しいことはありません。

そこで考えついたのが、素晴らしい「オリベ焼き」のやきものを海外に持ちだし、その評価をわが国へ輸入するというのであります。これまでのわが国の芸術は海外で評判がでると、わが国はこれに追随するという風潮。さみしい事だが、これが現実であります。

先に私がストーリーを書いたマンガ本「古田織部」も、このほど英訳本ができました。そして、「オリベ焼き」というやきものも平成15年春、米国・ニューヨーク市のメトロポリタン美術館において、「大織部展」（仮称）が開催されることが決定、すでに準備に入っている状況にあります。

私は新世紀を迎えながら、いまなお旧態から脱却、飛びたてない現在をみて、声高く「オリベに学べ」と言いたく思っております。

例会変更のお知らせ

名古屋中RC	6/25(月)	親睦例会の為
豊山一城北RC	6/26(火)	夜間例会の為
名古屋名駅RC	6/27(水)	最終夜間例会の為
名古屋名北RC	6/27(木)	夜間例会及びI.D.M.の為
	6/30(土)	17時30分～
名古屋瑞穂RC	6/28(木)	下期反省会の為、八勝館
名古屋西RC	6/28(木)	最終夜間例会の為
名古屋大須RC	6/28(木)	今年度最終例会の為18時

◆現・次年度理事役員会議題

1. 新入会員候補者の件
2. 長期欠席免除者の件
3. 事務局賞与・精勤手当の件
4. 2000～2001年度、仮収支決算書の件
5. I.M実行委員会、組織表報告の件

◆ニコボックスは誌面の都合上、次回掲載と致します。

◆次回例会（6月19日）

講演 “新世代の経営と世代間共生”

東海学園大学経営学研究科 教授 奈倉 道隆氏
(紹介 尾関君)